

# Mini Disclosure

2019

JALしみずの概況  
ミニディスクロージャー誌



## ごあいさつ

組合員や地域の皆様には、平素より、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

ここ数年の間に、農業分野の大幅な関税の引き下げを伴った複数の貿易交渉が合意・発効に至り、日米二国間貿易交渉の動きも本格化する中、全国のJAにおいては政府が定める「規制改革実施計画」により、今後の事業運営体制の方向性を総合事業体の維持か、信用農業協同組合連合会（信連）への信用事業譲渡または代理店化するかという選択を迫られるなど、農業・農協を取り巻く環境はかつてない程に混沌としています。

私たちJAは、これらの問題に対してグループ一体となった農政活動や総合事業体の強みを活かした農業経営支援に努め、農家組合員の農業所得向上や地域農業の持続可能性を高めることに貢献することでJAの存在意義を示していかなければなりません。

平成30年度において私たちJAは、政府の規制改革推進会議による農協改革を今まで以上に農家組合員から必要とされる組織へと変革する良いチャンスと捉え、管内組合員に対してアンケート調査を実施するとともに、作物部会との座談会や青壮年部・女性部・常勤役員との意見交換会を開催するなど、農家組合員の意見集約に努め、事業改善の起点とするよう取り組みを強化しました。また、販売事業においては、アンテナショップきらりや、地元スーパー店内に独立した売り場を設ける「インショップ」等を活用した買取販売強化策を推し進め、営農指導事業においても、個々の農家の経営実態に則した提案と情報提供を行うなど、農家組合員の農業所得向上に貢献するような取り組みを拡大させました。

組合員をはじめとする利用者の皆様が当JAを利用して頂いた結果、当期剰余金は214百万円となりました。さらに、平成31年3月期の自己資本比率は、13.73%と最低自己資本比率規制の4%を大きく上回っており、利用者の皆様に安心して利用して頂ける財務状態を確保しております。

最後に、JAしみずは、すべての組合員や地域の皆様に満足いただける取り組みを展開するとともに、「農協があつて良かった」といわれる農協を確立し、将来にわたり安定した経営を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援・ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表理事組合長  
柴田 篤郎

令和元年8月

## 概要

設立	1972年10月1日
本店所在地	〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
組合員数	正組合員 6,646人 准組合員 19,097人 合計 25,743人
出資金	29億6,754万8千円
役員数	理事26人 監事 6人 平成31年3月末現在
職員数	396人(うち正職員351人)

## 経営理念

私たちは、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立します。

### 基本目標

#### 農業

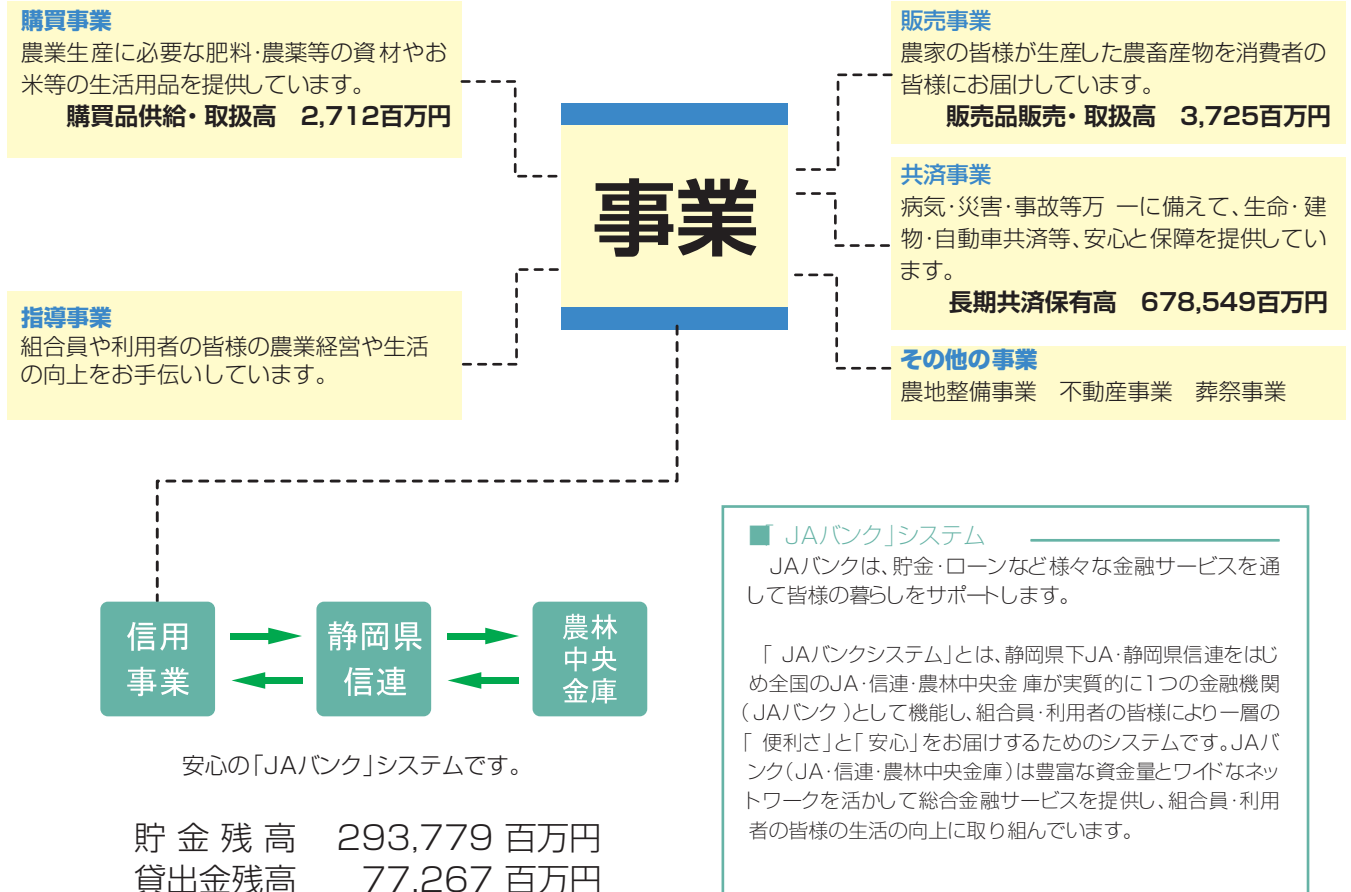
[基本目標1]  
農家組合員の農業所得の向上に取り組みます。

#### くらし・事業

[基本目標2]  
くらしの豊かさの実現に貢献します。

#### 組織・経営

[基本目標3]  
JAの健全な運営に取り組みます。



# 決算のあらまし

## 財産の状況 [貸借対照表]

### 資産の部

(単 位:百万円)

	2017年度	2018年度
現金	724	752
預金	192,061	205,784
有価証券	13,850	13,632
貸出金	79,101	77,267
貸倒引当金	▲311	▲350
その他資産	24,768	24,002
合計	310,196	321,090

### 負債・純資産の部

(単 位:百万円)

	2017年度	2018年度
貯金	282,825	293,779
引当金	1,699	1,663
その他負債	6,140	5,949
(負債計)	290,665	301,392
純資産	19,531	19,697
合計	310,196	321,090

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

預 金:静岡県信連等へ預け入れて運用しています。

有 価 証 券:国債等を購入し運用しています。

貸倒引当金:信用事業資産(貸出金)等の貸倒れに備えての準備金等です。

その他資産:土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関等への出資金等です。

その他負債:借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。

純 資 産:皆さまからの出資金、法定準備金、任意積立金、当期末処分剰余金等です。

## 経営成績 [損益計算書]

(単 位:百万円)

	2017年度	2018年度
事業総利益	4,085	3,894
うち信用事業総利益	1,946	1,984
事業管理費	3,916	3,725
事業利益	169	169
経常利益	379	412
税引前当期利益	362	386
当期剰余金	270	214
当期末処分剰余金	557	483

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

事 業 総 利 益:各事業収益から各事業直接費を差し引いた金額の合計です。

事 業 管 理 費:人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。

事 業 利 益:事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。

経 常 利 益:事業利益に受取出資配当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。

税引前当期利益:経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。

当 期 剰 余 金:全ての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で一般企業の当期純利益に相当します。

当期末処分剰余金 当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。

## 健全経営チェックポイント

### 自己資本比率【健全経営のバロメーター】

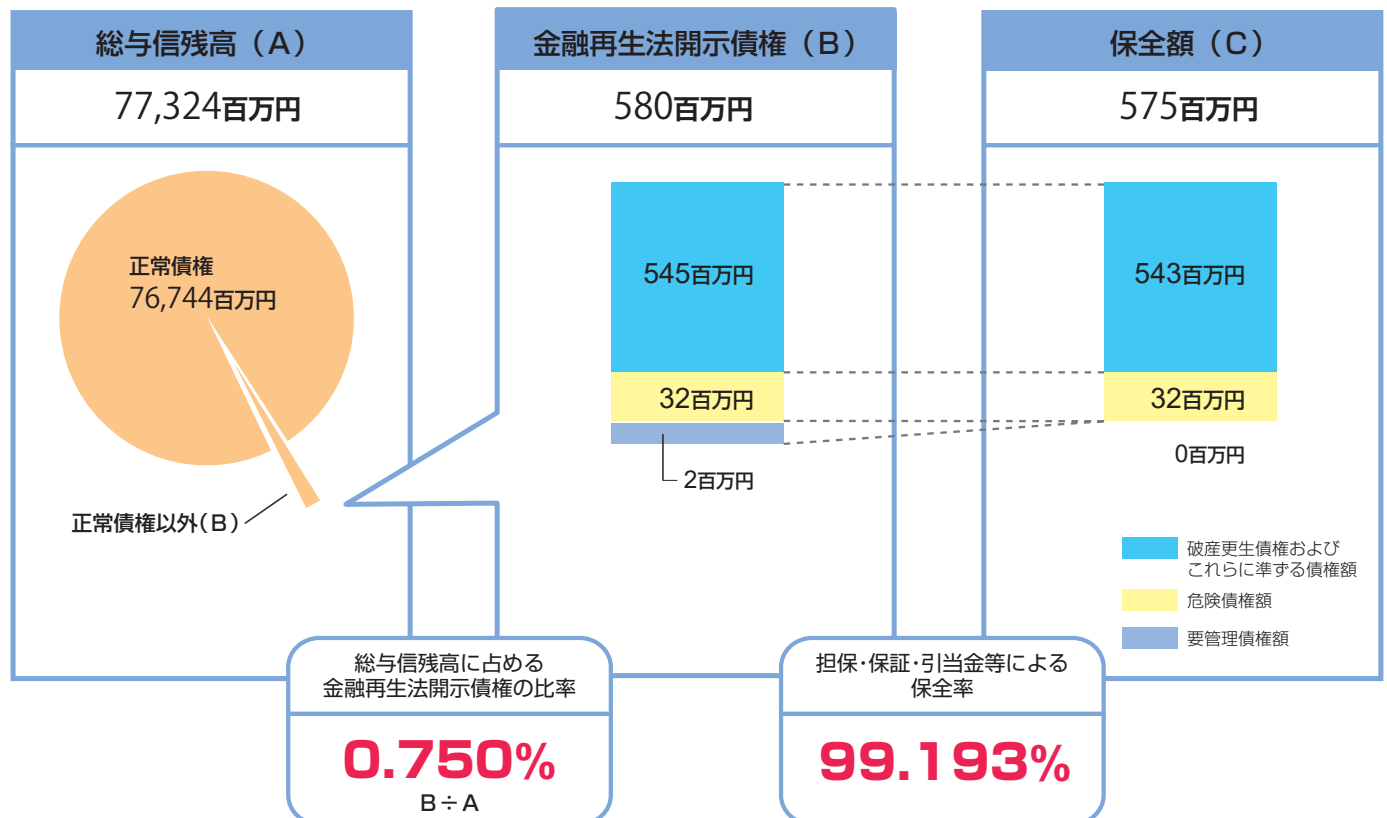
(単位:百万円)

自己資本額		19,229	A
リスク・アセット(注1)	リスク・アセット	132,219	B
	オペレーショナル・リスク÷8%	7,775	C
自己資本比率(注2)		13.73%	A÷(B+C)

(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる証券や債権などの各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆さまからお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。なお、当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

### 金融再生法開示債権の状況



※上記比率は貸出金等のなかのどのくらい金融再生法の開示債権(全金融機関共通)があるかを示していますので、この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。当JAは健全な運用を行っており、堅実な経営をしています。

※貸出金等の回収が困難になるなど万が一の事態に備えて、どのくらい担保や引当金で手当て・保全ができていているかを示しています。当JAはこの率が99.193%であり、十分な保全措置をとっています。

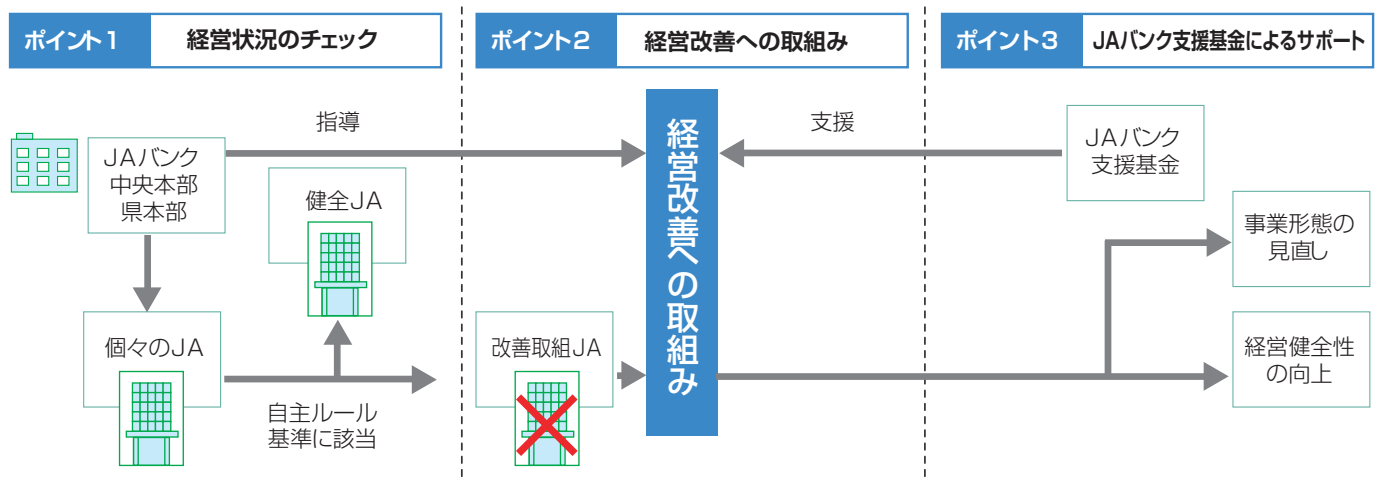
## 安心を支える2つの制度

### セーフティネットについて

当JAは、リスクに対応した経営と自己資本の充実に努めています。また、万が一の場合でも皆様の貯金はJAバンク制度と貯金保険制度で守られています。

### 安心① 破綻未然防止システム (JAバンク独自のシステムです。)

JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆さまに一層の安心をお届けします。



### 安心② 貯金保険制度 (国による公的制度です。)

貯金者を法律によって保護する保険制度です。(貯金には保険がかけられています。)

対象貯金等		対象以外貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金	その他の貯金等 定期貯金、定期積金、 貯蓄貯金等	対象以外貯金等 外貨貯金、譲渡性貯金等
(注1) 決済用貯金(利息がつかない等の条件を満たす貯金)		
全額保証	合算して元本1,000万円までとその利息等(注2)	破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払い(一部カットされることがあります。)

(注1) 「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3つの条件を満たすものです。

(注2) 1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われますので、一部カットされることがあります。

### 店舗一覧 市外局番(054)

本店 TEL.367-3200(代)	飯田支店 TEL.366-0217	草薙支店 TEL.345-3324
興津支店 TEL.369-1121	高部支店 TEL.346-0149	長崎支店 TEL.345-4036
小島支店 TEL.393-3111	清水支店 TEL.334-2525	由比支店 TEL.375-2151
両河内支店 TEL.395-2221	三保支店 TEL.334-0258	蒲原支店 TEL.385-2156
庵原支店 TEL.367-3229	下清水支店 TEL.352-7128	ローンセンター TEL.367-3268
袖師支店 TEL.365-1122	有度支店 TEL.345-4136	